

全国非開削普及協議会： 第9回定時総会を開催 岡本会長が再選

推進工法など非開削工事の普及拡大を図っている全国非開削普及協議会は8月24日、東京・港区のメルパルク東京において第9回定時総会を開催した。



岡本会長

総会で可決承認された2011年度事業報告によると同協議会では昨年度、協議会内に設けているEGSM工法研究会と共同で全国35県50市町村に対して普及活動を実施し、対前年度比152%となる146件の資料請求を受けた。また「雨水集水ます浸透化工法」(EGSM工法)については、昨年7月の「下水道展'11東京」でのPRに加え今年3月の(公社)雨水貯留浸透技術協会の技術評価認定取得が好要因となり、前年度対比227%となる941件(ER工法含む)の施工実績を上げている。

また2012年度事業計画では、非開削工事普及推進部会において「環境にやさしい掘らない技術」をテーマに全国31都府県で推進技術等のPR活動を展開していくとともに、東日本大震災の復旧・復興に協力していく。また、土壌汚染や有害排水の処理を担う環境保全技術普及部会では、外部団体とタイアップしながら放射性物質除染分野での環境保全業務獲得に向けて活動を展開する。さらにEGSM工法研究会では、前年の下水道展より多い743人のブース来訪者を得た「下水道展'12神戸」での大きな反響と雨水貯留浸透技術協会の技術評価認定取得を追い風に全国展開に拍車をかけていく方針だ。

任期満了に伴う役員改選では、岡本^{くにお}州雄会長(スピーダーレンタル(株)社長)ら役員再選が満場一致で決定された。

岡本会長は総会冒頭の挨拶で「局所的豪雨などによる浸水被害への対応が喫緊の課題となっている。各種対策技術があるなか、迅速に施工できコストが経済的で周辺の地下構造物に影響を与えずに既存の雨水集水ますを浸透化する(EGSM)工法は今後ますます普及していくと確信している」と期待感を示した。